

長 殿

授業・試験・生活等に関する合理的配慮要望書

(この要望書はプライバシーに配慮し、厳正な管理のもとに保管します。)

私_____は、授業・試験・生活等に関する合理的配慮要望について、下記のとおり、
インクルージョン支援推進室と相談の上、作成いたしましたので、提出いたします。

1. 申請者の情報

所属：		学部/学府		学科/専攻	
氏名：				学生番号：	
研究室名：				指導(担当)教員氏名：	
e-mailアドレス：				電話番号：	
障害のカテゴリー	<input type="checkbox"/> 視覚 <input type="checkbox"/> 聴覚 <input type="checkbox"/> 肢体 <input type="checkbox"/> 病弱・虚弱 <input type="checkbox"/> 発達 <input type="checkbox"/> 精神 <input type="checkbox"/> その他				
障害名	()				
障害の根拠資料	<input type="checkbox"/> 診断書 <input type="checkbox"/> 障害者手帳 <input type="checkbox"/> 各種検査の結果 <input type="checkbox"/> 専門家の所見 <input type="checkbox"/> 高等学校等の大学入学前の支援状況に関する資料				
申請期間	<input type="checkbox"/> 在学期間中すべて <input type="checkbox"/> 一部の期間 (年 月 ~ 年 月)				
e-ポートフォリオ による情報共有	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない				
上記連絡先への 授業担当教員からの連絡	<input type="checkbox"/> 可 (<input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> 電話) <input type="checkbox"/> 不可				

2. 生活上の必要な配慮および生じる困難

必要な配慮	生活上の困難

3-1. 修学上の配慮の実施にあたっての確認事項

配慮の具体的な実施方法等を検討する建設的対話は本書面にて行います。必要な配慮が実施不可能または要検討となった場合などは、メールや電話、面談等により追加で建設的対話を行います。

- ・ 配慮実施にあたって、他学生への露見について

他学生に露見してほしくない 他学生に露見してもかまわない

- ・ 配慮実施にあたって、必要時のTA(ティーチング アシスタント)への情報共有

希望する 希望しない

- ・ 実施不可能または要検討となった場合に追加でおこなう建設的対話の、部局による調整

(調整を希望しない場合は、自身で教員へ連絡を取って調整してください。)

希望する 希望しない

- ・ 追加の建設的対話の際に、面談対応者またはコーディネーターの同席

希望する 希望しない

3-2. 修学上の必要な配慮および生じる困難

[※合理的配慮の考え方及び各障害種の特性、具体的な配慮内容例については、こちらをご参照ください。](#)

必要な配慮	修学上の困難	担当教員記入欄				備考 (要検討、実施不可能等の理由)
		実施可能	実施機会なし	要検討	実施不可能	
対面・オンライン共通						
1		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
対面						
2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
オンライン						
3		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

※教員記入欄については記入しないこと

上記のとおり、確認いたしました。

別紙に記載の授業・試験について、ご高配のほど、よろしくお願いいたします。

なお、この学生については学期ごとの要望書の更新が

必要です 必要ありません

面談者 インクルージョン支援推進室